

## シティバンクの銀聯カード対応 ATM 配備 1 万台を超える

2006/5/12 【新華網】 文字数：855

シティバンクとの提携で、銀聯カードの国際化が進んでいる。中国銀聯とシティバンクは上海で昨日、双方の ATM での業務受入れが開始したことを発表した。銀聯カードが 36 の国と地域に設置された 1 万台を超えるシティバンクの ATM で海外金種の現金引き出しが可能になった。

双方は昨年 9 月、ATM 業務相互受入れ協定に調印していたもの。協定によると、銀聯カード契約者は世界 36 の国と地域に設置された 1 万台を超えるシティバンク ATM で現金引出しならびに残高照会などが可能となると同時に、シティバンクの国際カード契約者も中国銀聯の 8000 台近い海外カード対応 ATM でシティバンクカードを使用することができる。

中国銀聯が外資系銀行との間でこの種の業務提携を行うのは、今回が初めてである。今回の提携により、銀聯カードは米国、日本、シンガポール、中国香港、中国マカオなど 19 の国と地域での使用が可能になった。

中国銀聯国際業務部・汪周雲は『上海東方早報』に対し、次のように説明した。「双方の協力は現時点では銀聯カードによる ATM での現金引出しに限られており、POS システムによるカード消費は含まれていない。また、銀聯カード契約者がシティバンク ATM を使用して外貨を引き出す場合の上限が中央銀行の関連規定により 5000 元に規制されている。

手数料については、銀行各社によりばらつきはあるが、5000 元引出しの場合で計算するとほぼ 10 元から 15 元前後となる」さらに、「本業務では現在のところ、外貨交換費用を課金していないために、Visa、Mastercard など類似サービスに比べて安くなっている」点を強調した。

銀聯も、海外のカード対応の ATM 設置台数はさらに増えると話す。中国銀聯執行副総裁・劉永春は、シティバンク ATM との業務提携の正式起動は、銀聯カード契約者によりよいサービスを提供ことができ、特に海外での銀聯カード使用に多くの便宜を提供できると語った。

シティバンク側も、双方の業務受入れの正式起動は、シティバンクと銀聯との提携の過程での重要な一里塚となるもので、シティバンクの中国における外資系リーディング銀行としての市場での地位を一層強固にするものであるとしている。

銀聯カードは 2004 年 1 月、香港地区で使用が可能となり、2005 年 1 月に韓国、タイ、シンガポールでその使用エリアを拡大した。銀聯カードの国際化が全力で進められている。2 年前に設立された香港代表処に替わって中国銀聯香港分公司が先ごろ設立された。香港・マカオ地区で銀聯の名前を一層普及させ、受入れ市場を拡大して、徐々に現地業務を展開し、体系を強化することを狙ったものである。

## 建設銀行の ATM 保有量は、国内銀行中第 2 位

2006/5/18 【中国金融網】 文字数：258

建設銀行が明らかにしたところによると、2005 年第 1 四半期末時点で、建設銀行の「全功能自助銀行」運用数が 1000 件超となり、ATM 設置運用台数が 16000 台を超えて、ATM 保有台数で国内銀行中第 2 位となった。

建設銀行 ATM の取扱い業務数はすでに数十種に及んでいる。カード契約者は従来の現金引出し、残高照合を初めとして、明細問合せ、口座振替、各種料金(電話・光熱費など)の支払などを行うことができる。現在、「龍卡」「貯蓄卡」「信用卡」「理財卡」契約者は建設銀行 ATM を使用できるほか、他銀行の銀聯カードも建設銀行の ATM で現金引出しや照合などを行うことができる。さらに、2004 年からは、海外の銀行が発行した各 VISA、Mastercard も建設銀行の 11000 台あまりの外国カード対応 ATM で現金引出しならびに照合が可能となっている。

## 天津郵貯対応 ATM 配備量、156 台に

2006/5/19 【中国金融】 文字数：182

天津郵儲の天津市内での ATM 設置台数が 156 台、ATM コーナー 8 ヲ所となり、天津郵貯サービスが多くの顧客に提供されるようになった。

2006 年 5 月時点で、郵政儲蓄全国聯網のサービスポイントは全国 31 の省・自治区・直轄市をカバーしており、すべての地方都市の 2500 あまりの県・市に展開する 36000 あまりの郵政儲蓄聯網サービスポイントで普通貯金の相互預入・引出しが可能である。「郵政儲蓄緑卡」は、国内及び 16 の国と地域の「銀聯」マークのついた ATM ならびに POS で現金引出し及び消費が可能である。

以上